



那霸市立教育研究所 所報

令和7年度 8月号①

所長 棚原 歩

夏期実践講座「プラッシュアップ講座」は、10講座を開講し、延べ200名の多くの方にご参加をいただきました。ご参加くださった皆様に心より感謝申し上げます。各講座のアンケートを参考に、今後も先生方のニーズに応じた研修・講座を計画してまいります。

講座①「その仕事、AIに任せてみませんか？校務お助けAI活用入門」

日時 8月15日（金） 会場：研究所 人数：25名

講師 琉球大学 准教授 加藤 司

講義 ◇AIの基本から安全な使い方 ◇AIを活用した保護者向け 文書の作成 ◇AIを活用した授業のアイデア出し

受講者のアンケートから

○生成AIの理論について学びを深めることができた。教師も今回のような理論をしっかりと深めておく必要があるが、理論を理解せず活用していたので、良い学びとなりました。

○仕組みから学ぶことができて非常に勉強になりました。プロンプトについても様々な手法があり、より校務に適切に使えるように私自身も学びを深めて広げていきたいと思います。

講座②「経年研修及び法定研修における課題研究」

日時 8月18日（月） 会場：研究所 人数：13名

講師 R6年度教育研究員：大城考市（識名小）島田有希（古蔵小） 松田泰知（城南小）米須智子（松島小）

講義 ◇課題研究（2年研）、特定課題研究（中堅研）の取組に向けて〈研究テーマ・テーマ設定理由・研究仮説・検証方法等〉

受講者のアンケートから

○特定課題研究について、自分でもまとめることができずに悩んでいたので、本講座で指導主事の先生方や研究員の先生方にアドバイスを頂けて良かったです。

○課題研究の取組方の説明が丁寧で分かりやすく、また実際に研究された先生方から詳しい話を聞く機会も設けられており、とても勉強になりました。

講座③「学校ポータルサイト編集」

日時 8月18日（月） 会場：研究所 人数：10名

講師 株式会社 学映システム 内田帆南

講義 ◇学校ポータルサイトの作成及び運用方法 ◇学校ポータルサイト用フォルダの利用（Google ドライブ） ◇スプレッドシートの活用

受講者のアンケートから

○施設利用予約についての活用の仕方がよく分かりました。夏休み中に仕上げて早速夏休み明けから利用させていただきます。実践的でとても良かったです。

○これまでICT支援員や玉栄さんのお力を借りて運用してきましたが、今回の講座で仕組みがわかったので、これからは自分でも編集などに取り組みたいと思います。

講座④「生徒指導・教育相談で活用できる心理技法「ロールレタリング」

日時 8月19日（火） 会場：研究所 人数：16名

講師 琉球大学 教授 岡本泰弘

講義 ◇ロールレタリングによるいじめ・不登校児童生徒への発達支持的・課題予防的・困難課題対応的アプローチ

受講者のアンケートから

○ロールレタリングを体験し、自己内省やメタ認知の効果を実感。教育現場で活用し、子どもや教師の心の整理に役立てたいです。

○実践を通して心の整理や関係づくりの有効性を学んだ。子どもや教師双方に役立つ手法として、学校で取り入れたいです。

○ロールレタリングを学び、子どもが自分の感情や思考を整理する手立てとして有効であることを実感しました。

9月予定 教育研究所事業

9日（火）プレゼン検討会（研究員）

11日（木）情報教育研修会③

15日（月）敬老の日（祝祭日）

19日（金）ICT情報推進部会④オンライン

23日（火）秋分の日（祝祭日）

24日（水）成果報告会・修了式リハーサル（研究員）

25日（木）成果報告会・修了式（研究員）

令和7年度 第124期教育研究員

今後の日程	
8/25(月)	原稿検討会
9/9(火)	プレゼン検討会
9/24(水)	成果報告会・修了式リハーサル
9/25(木)	成果報告会・修了式

中間検討会Ⅱ（7/23）



各種研修・講座



第8回 初任者研修 7/30(厚生会館)



第9回 初任者研修 8/1(午前)対馬丸記念館



第9回 初任者研修 8/1(午後)若狭公民館



第2回 教職2年目研修 8/2(ともかぜ会館)

◆◆◆新着図書（8月）のお知らせ◆◆◆

『安心・安全な場で学べる教室づくり』 吉岡明子

『先生たちのフロネーシス』 千々布敏弥

『6年間まるっとおまかせ！ 短時間でパッとできる 図工あそび大事典』 『授業力&学級経営力』編集部

『校庭の雑草で探究学習や自由研究ができる本』 稲垣真衣

『教員のための研究のすすめ方ガイドブック』 龍澤聰

『教員・学生のためのはじめての教育論文の書き方』 石井俊行

『研究授業を成功させるための算数授業づくり』 藤田英治

『主権者ってなに？身近な問題から考えよう』 西野偉彦

『知っておきたい！社会と政治のしくみ』 西野偉彦

『ウェルビーイングな未来を目指して』 西野偉彦

★こちらのQRコードから研究所の新着案内を閲覧できます。



那覇市立教育研究所 所報 令和7年度8月号②

講座⑤「自立した学習者の育成～自己調整力を高め主体的に学ぶ児童生徒の育成～」

日時 8月19日（火）会場：研究所 人数：27名

講師 宮里小学校 教頭 山内かおり

講義 ◇なぜ自立した学習者の育成が求められるのか
◇自己調整力の高め方

受講者のアンケートから

○自立した学習者を育てる意味や目的、その方法などとても多くのことを学ぶことができました。

○実践例を見ることができたり、実際に取り組んでいる先生方の話を聞いたりできたのもとても良かったです。

○自由進度を取り入れて子ども達の変化を見てみたいと思いました。夏休み明けのやる気につながりました。

講座⑥「先生も楽しくチャレンジ！体育指導のポイント（基礎編）」

日時 8月21日（木）会場：若狭小学校 人数：12名

講師 若狭小学校 校長 照屋謙二

講義 ◇体育科で育てたい力と指導のポイント

◇運動領域別にみた学習の進め方

受講者のアンケートから

○体育は、できる・できないで測るものではなくて、見る・知る・支えるなど色んな観点で学ぶものなんだよと子どもたちに伝えたいと思いました。

○体育指導に必要な内容をそれぞれの分野で細やかに説明していただき、すぐでも実践したいと思う内容ばかりでした。

○理論から子どもの動かし方、声かけ、細やかな指導は、体育を見直す良い機会になりました。

講座⑦「感情コントロールに苦しむ子どもとまわりの子」

日時 8月21日（木）会場：研究所 人数：29名

講師 球大学教育学部内 沖縄若手教員支援プロジェクト
推進員 丹野清彦

講義 ◇感情コントロールに苦しむ子どもの背景や特性の理解
◇具体的な関わり方や支援の手立て等について

受講者のアンケートから

○講義を通して、感情コントロールに苦しむ子どもの背景や気持ちを理解する大切さを実感。事例や具体的な対応を学び、教育現場で活かしたいと思います。

○子どもとの関わり方や言葉掛けの工夫、周囲の支援を活用する重要性を学んだ。実践例から自分の対応を見直し、児童理解や信頼関係づくりに役立てていきたいと思います。

講座⑧「国語科授業実践 問いからはじまる国語授業入門」

日時 8月22日（金）会場：城北小学校 人数：35名

講師 城北小学校 教諭 我那覇翔太

教育研究所 指導主事 下地達也

講義 ◇なぜ「問い合わせ」が授業の質を決めるか ◇教材研究のポイントと問い合わせの立て方 ◇子どもの実態に応じた問い合わせの調整

受講者のアンケートから

○子どもから引き出す問い合わせの扱い方や焦点化の手法を学び、授業設計や学習計画に具体的に活かせると実感しました。

○教師自身の国語観や指導の在り方を見直す機会となり、子どもとの対話を通して主体的学びを促す授業を目指したいと感じた。

○言葉へのこだわりや教材研究の工夫を通して、子どもが楽しみながら学び、心豊かに成長できる授業づくりのヒントを得ました。

講座⑨「学校ポータルサイトの活用・運営～校務のDX化を進める」

日時 8月22日（金）会場：研究所 人数：9名

講師 真嘉比小学校 教諭 地主園 亮

講義 ◇Googleサイトを活用した情報の一元化と連携で校務の効率化アップ ◇Geminiで校務のDX化（演習） ◇校務DX化の成果と課題

受講者のアンケートから

○職員用回観、補充計画、職員欠席連絡など、こうあればいいなと思っていたことをたくさん教えていただいたので、本校でもぜひ取り入れていきたいと思いました。

○自校以外のポータルサイトの運用状況が分からなかったので、本日の研修で進んだ学校の状況を知る事ができ勉強になりました。

講座⑩「算数・数学科授業づくり」

日時 8月22日（金）会場：研究所 人数：6名

講師 学校教育課 指導主事 山城高雄

講義 ◇数学的活動の充実 ◇発問の工夫

◇教材観・児童生徒観を高めるために

受講者のアンケートから

○特に印象に残ったのが、めあての提示です。どうなるか？と生徒に予想させることが大切だと感じました。自分がどんな授業をしたいのかを意識しながら教材研究をしていきたいです。

○事例や授業に対する考え方など、今後の授業づくりに役に立つ話をたくさん聞くことができました。これから授業づくりの視点として意識していきたいと思います。



【お礼】このたびは、本講座にご参加いただき、誠にありがとうございました。先生方の熱心なご参加と、学校におけるご理解・ご協力のおかげで、充実した学びの場を実現することができました。本講座で得られた知見や気付きが、日々の授業実践や教育活動において少しでもお役に立てれば幸いです。また、参加者同士の交流や意見交換を通じて、新たな発想や指導の工夫を見つける機会にもなったことと存じます。今後も、よりよい教育環境づくりに向けて共に歩んでまいりましょう。心より感謝申し上げます。